

播州織幟と今年の「歩こう会」について！

きっかけは昨年の歩こう会のことでした。前日の防災放送を聞いて当日参加して下さった方が、集合場所が分からなかったと漏らされたのでした。市民センター玄関前、としていたのですが、入り口がたくさんあり、迷われたとのこと。その時参加されていたはなみずきの会世話人のひとりが「コロナ下のため、講師を外部から呼んでの市民公開講座はむつかしく、予算が余る。それなら、幟を作るのはどうか」と言って下さり、それならば播州織で作れば地域活性化にもささやかながら貢献できるなどなど話が一気に盛り上がりました。

ふるさと納税のことで西脇市商工観光課と連絡を取っていたこともあり、播州織で幟を作るには、どこに連絡すればいいかとお聞きし、担当者を教えて頂きました。そして、あれよあれよという間に、繊維工業技術支援センターでの打ち合わせ、となりました。当日、はなみずきの会からは三輪が代表で伺い、先方はセンター長の藤田さん、と東山さん、前センター長の古谷さん、それに商工観光課の塚口さん、と播州織のプロ中のプロのみなさんと熱のこもった話し合いをさせて頂けてとても嬉しかったことをよく覚えています。そして、当日センター内を見学させて頂き、播州織の実際の工程を見せて頂きました。

私どもはなみずきの会は、がん検診の啓蒙を活動の一環として会創立以来取り組んできました。特に乳がん検診に力点を置いた活動をしており、10月がピンクリボン月間であること、また運動ががんの予防や予後に良いことから、2015年より毎年10月の最終日曜日にはなみずきの会主催で「歩こう会」（西脇市多可郡医師会と西脇市健康課協力）を行ってきました。その一環で、歩こう会の際の幟に「がん検診に行こう」と入れたものを持って歩けば、少しでも市民のみなさんの目にとまるのでは、との考えをお伝えしたところご賛同くださり、先方でも播州織のアピールになりますと仰っていただき、はなみずきの会で具体的なデザインを考えることになりました。

その後はなみずきの会の定例会で、世話人のみでなく、当日参加の方にもご意見を伺って、たたき台を考え、窓口になってくださった塚口さんにご連絡させていただき、試作を作っていただきました。試作品を、その次のはなみずきの会で参加者のみなさんに見て頂き、「播州織でつくりました」とぜひ入れて頂こうなどのご意見が出ました。

第2版で、ほぼデザインは決まっていたのですが、幅広く様々な立場の方にご協力いただ

いており、また、これからの活動の広がりへの期待を込めて、はなみずきの会「+α」と入れて頂きました。

何度もメールでやりとりさせていただき、2021年8月11日に完成版が届きました！翌日早速はなみずきの会世話人会を急遽開き、みなさんに見て頂くとともに、お披露目となる「歩こう会」について話し合いました。恒例の10月最終土曜日が今年は市長選と重なるとのことで、10月23日（土）9時市民センター前集合、やすらぎの道を歩き、11時半ごろ解散予定としました。目印は、播州織幟（デビュー！）です。いつものようにできる限り、ピンク色のものを身につけて来て下さい。またコロナ下であり、発熱等症状のないことを確認のうえ、マスク着用でご参加ください。お問い合わせは、市立西脇病院 乳腺外科 三輪（0795-22-0111）までお願いいたします。参加無料です。

